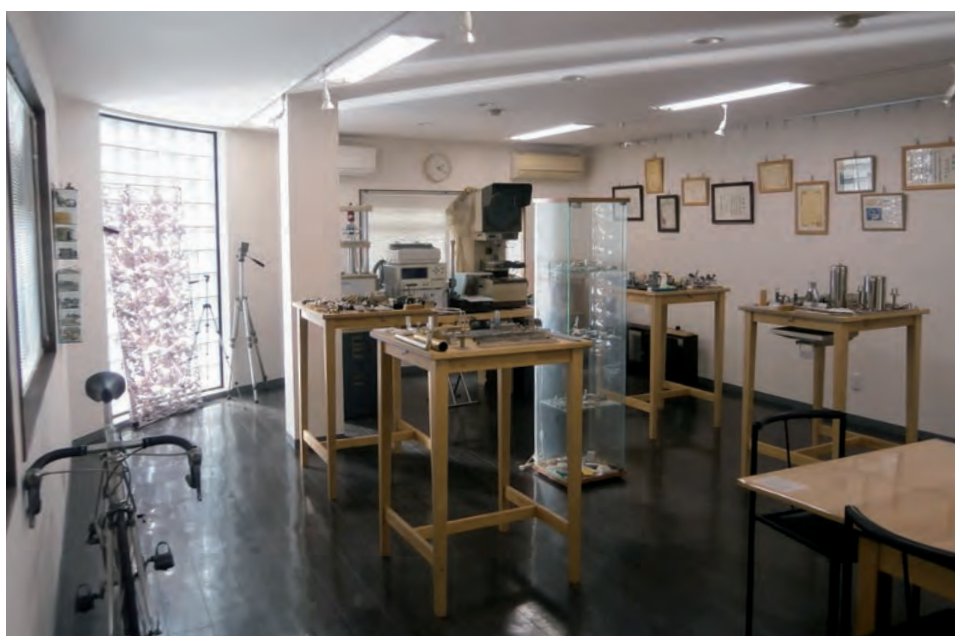


最適なものづくりで顧客の
要求以上の仕上がりを実現海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

これまで手がけた数多くの製品がずらりと並ぶ展示室

業務
内容協力工場と連携し、
幅広い加工に対応

建築用の金物をはじめゲーム機の部品や美術館の展示物向け美観部品など、さまざまな製品を設計、開発、製造する。量産から小ロット生産まで対応し、案件に適した材料や形状、加工法を提案。自社工場は持たず、プレスや樹脂成型、ダイカスト（铸造）や鍛造、といった加工技術をそれぞれ持つ協力工場とのネットワークを活用し、多種多様な顧客の要望に応える。明石和邦社長の父が金物問屋として創業し、昭和44年の法人化を機にメーカーに転身。顧客と協力工場と自社が共に繁栄する、この思いを、社名の「共栄」に込めている。

強み
現物から図面化し、
製作可能

設計段階からVA（価値分析）を実践し、生産しやすい形状に仕上げる。現物を見て図面化し、顧客から預かった図面にも手を加える。ゲーム機の部品は自社で設計を変更し、扱いやすとした。提案型のものづくりは先代からの特徴だ。従来品を手直しして新たに開発し、生産性向上やコスト低減も実現。明石社長は「ベストの加工法や設備を用いればコストが安くなる場合が60〜70%ある」と自負する。他社にできない加工を頼まれることもある。

製品
開発アイデアを形に、
研究や改良も重ねる

手がける案件はOEM（相手先ブランド生産）が大半。顧客の漠然としたアイデアをもとに設計し試作、量産する

ODM（受託企業のブランド製品企画・生産）も得意だ。アイデアを形にするまでに「早いもので3カ月、長ければ3年」と明石社長。現在売り上げの60%を占める、外壁を留める金具はODMで生み出した。3カ月かけて各メーカーの壁材を研究した末、複数メーカーに対応する金具を開発。5〜6年前から製造を始め、販売個数は累計1億個を突破している。電気を使わない除湿器も設計から量産まで担った。塩化コバルトと塩化カルシウムを混ぜたろ紙が2Lの水を吸い、湿気がたまると紙の色が青からピンクに変わる仕組み。筐体のステンレスが塩化カルシウムでさびるため鉄に電着塗装した材料に変えるなど改良を重ねた。

今後の
展望
自社商品の開発に着手

課題は市場のニーズに対応したオリジナル商品の開発だ。建築現場の味方になる製品として、建築物の外側にネットを張る作業の負担を減らす装置を考案。これまで足場を組んでネットをひもで結んでいたが、そういった作業が不要になり現場での作業時間を10分から10秒以内に短縮できる装置も開発した。業務の効率化に向け、量産品の生産管理システムも整備。明石社長は「昨日入った女子高生でも（作業）できるようにしたい」と理想を掲げ、スキルを持たない人でも作業に取り組める体制づくりに取り組む。



ODMで生み出した外壁の留め付け金具

COMPANY PROFILE

株式会社 共栄金物製作所

大阪 26

当社の
歴史

問屋で創業し、今年で66年。46年前に法人を設立しメーカーとなった当時は、自社に自動プレス機を導入して北米向けの金物を製造し、金型も社内で生産していました。その後は国内向けの金物製造に専念し、自社では設備を持たなくなりましたが、蓄積してきた生産に関する知識やノウハウを生かし、多種多様な材料で高い技術を持った協力工場と連携しながら顧客のさまざまなご要望に応じています。

私たちは、実力のある顧客のものづくりに対し、魅力的な製品・情報・サービスを提供し、共に栄え躍進することで、社会貢献を果たします。

代表取締役 明石 和邦さん



■主な事業内容

建築および家具用金物の
製造・販売

■主な取引先（納入先）

建築金物販社、
電子部品メーカーなど

住所／〒544-0034
大阪市生野区桃谷
5-6-22
TEL／06-6717-2334
FAX／06-6741-7430
創業／昭和24年2月
設立／昭和44年1月
資本金／1,000万円
従業員／9名

<http://kyoeikanamono.jp>